

平成21年7月7日

平成21年度 燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査 (第6回 7月上旬分)

香川県水産試験場 環境資源部門(山本)
TEL 087-843-6511/ FAX 087-841-8133

○カタクチイワシ卵の出現状況

前回より増加した。前年値と比べて若干少ないものの、平年値より4倍程度多かった。

前年	平成20年7月1日	(6点の平均)	42.7 個
前回	平成21年6月17日	(17点の平均)	28.5 個
今回	平成21年7月1日	(7点の平均)	38.7 個

○カタクチイワシ稚仔魚の出現状況

前回より増加した。前年値および平年値と比べて3倍以上多かった。

前年	平成20年7月1日	(6点の平均)	5.0 尾
前回	平成21年6月17日	(17点の平均)	8.8 尾
今回	平成21年7月1日	(7点の平均)	18.4 尾

○プランクトン調査

前回同様に全域でカブクラゲが多かったが、餌として重要であるカイアシ類も多かった。

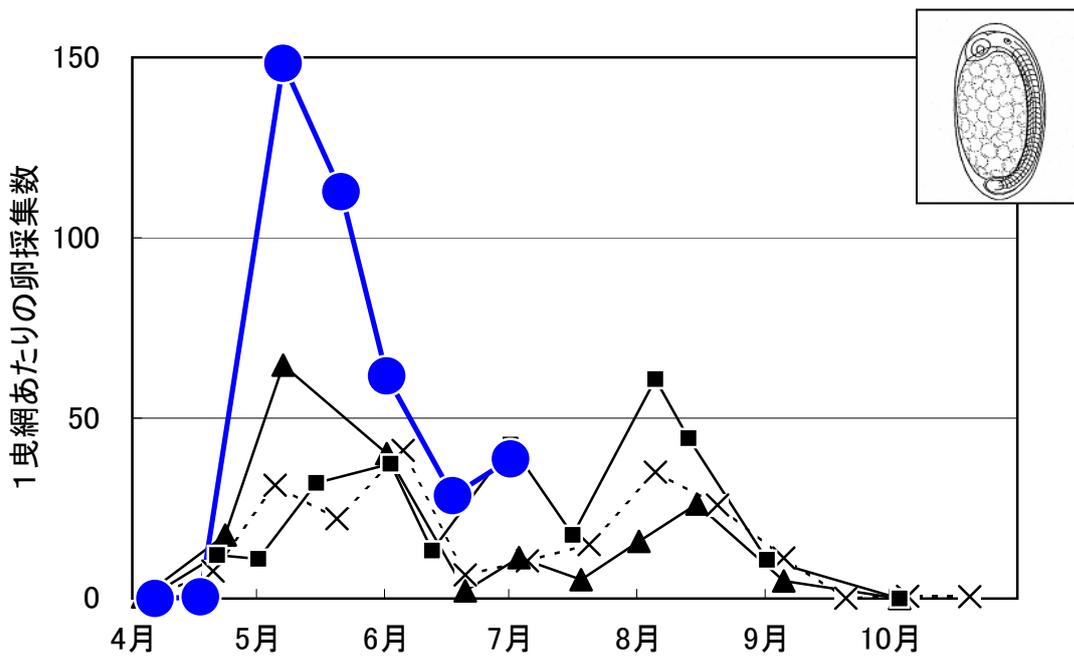
カタクチイワシ卵稚仔採集状況(7.1)



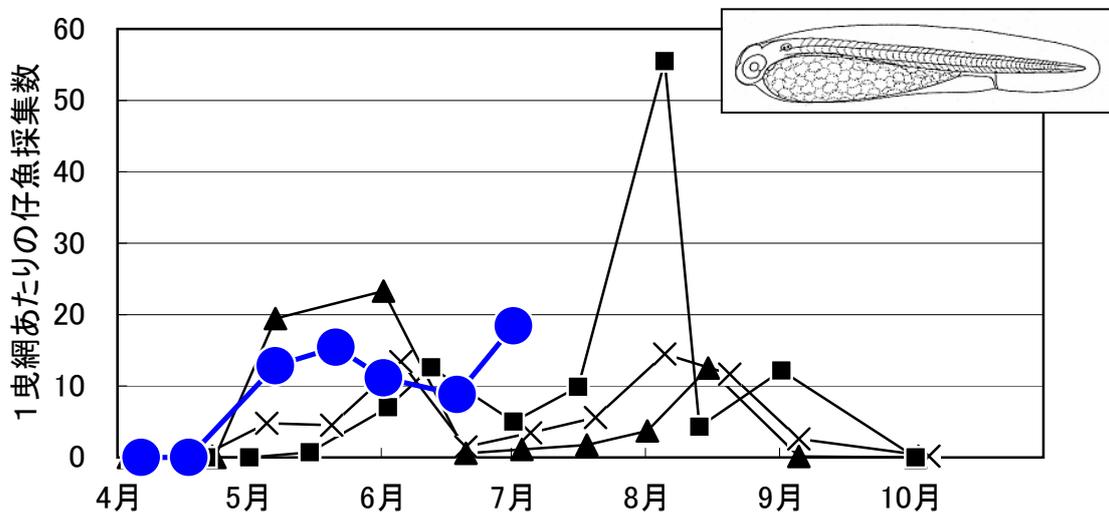
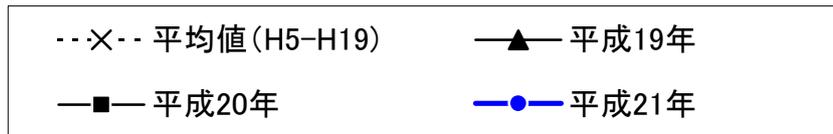
凡例

●の上側がカタクチイワシ卵数,
下側がカタクチイワシ稚仔魚を
示す。いずれも1曳網当たりの数

21 ← 卵数
●
5 ← 稚仔数



燧灘におけるカタクチイワシの卵出現状況



燧灘におけるカタクチイワシの仔魚出現状況

